

森下仁丹のサステナビリティ

SUSTAINABILITY SECTION

- ステークホルダーとのつながり
- 5つのマテリアリティ



ステークホルダーとのつながり

対話を重ね、 ともに未来を育む

森下仁丹の事業活動は、お客さまをはじめとした、多くのステークホルダーに支えられています。皆さまとのコミュニケーションを通じて、社会課題を認識し、解決に取り組むことで、企業としての責任を果たし、期待と信頼にお応えします。



顧客

製品やサービス、コミュニケーションを通して、お客さまの今と未来の課題解決に貢献します。

つながりの方針

お客さまと継続的に対話できる環境を整備し、製品やサービスに関する課題やニーズへの理解を深めていきます。また、信頼を裏切ることのないよう、安全性や品質の担保にも力を入れていきます。

取り組み

- お客さまからのご質問やご相談に迅速かつ正確にお応えするために顧客対応窓口を設け、薬剤師などの有資格者を配置
- 各製造拠点にてGMP認証を取得し、高い品質水準での製品づくりを実現 など

アウトカム

- エンドユーザーの健康の増進
- エンドユーザーの生活の質の向上



従業員とその家族

公正で活気に満ちた職場、従業員やその家族の心身の健康づくりも支援します。

つながりの方針

従業員とその家族が健康でいきいきとした生活を送ることが、企業の成長につながります。今後も、安全で快適な職場づくりや、多様な人財が活躍できる環境整備に取り組んでいきます。

取り組み

- 男女従業員ともに育休復職率100%を維持
- 360度評価や管理者研修の実施
- 社員向けの特定保健指導を運用
- メンター・メンティー制度導入 など

アウトカム

- 会社と従業員の相互の成長
- 働きがい・働きやすさの向上



取引先

ともに価値を生み出すパートナーとして、事業活動を通じ信頼関係を構築していきます。

つながりの方針

お取引先さまは、技術や製品、サービスの価値をともに高めていく大切なパートナーです。信頼関係を築くため、各法令を遵守した取り組みの徹底や、各種情報の積極的な提供を行っています。

取り組み

- 品質や製造管理体制の監査対応
- 森下仁丹の製品を販売するお取引先さまへ製品説明会の実施や健康情報の提供 など

アウトカム

- 持続可能な調達のさらなる推進
- パートナーの課題解決
- 当社、パートナーの企業価値向上



地域・社会

事業を通じて、企業としての社会的責任を果たし、地域に暮らす人々と豊かな社会の実現を目指します。

つながりの方針

ほうほんはんし「報本反始(謙虚なところを忘れず、自分自身が存在するに至った根源のすべてに報いる)」の精神のもと、健康への啓発イベントやスポーツ支援などを通して地域社会へ貢献しています。

取り組み

- 山本能楽堂や関西フィルハーモニー管弦楽団等への協賛
- 児童福祉施設等を卒業する児童への薬育プログラムの実施
- JDFA*や天王寺動物園等への協賛 など
※一般社団法人Japan Dream Football Association

アウトカム

- 生活を豊かにする文化・芸術分野への支援
- 青少年の健全育成の推進
- 地域の自然環境保全



株主・投資家

永きにわたって信頼していただけるよう、適切なコミュニケーションの場を設けています。

つながりの方針

株主・投資家の皆さまと対話するため、必要に応じた個別面談や定期的な決算説明会を開催。未公表情報は、特定の方のみ伝わることのないよう、社内規定に従った情報管理を徹底しています。

取り組み

- 本決算、第2四半期決算時の説明会
- 個別対話への対応
- 経営幹部、関連事業部門への意見共有
- 社内規定に従った情報管理の徹底 など

アウトカム

- 安定的な株主還元
- 持続的成長と中長期的な企業価値向上

5つのマテリアリティ

リスクと機会を正確に捉え、 企業経営を強力に推進

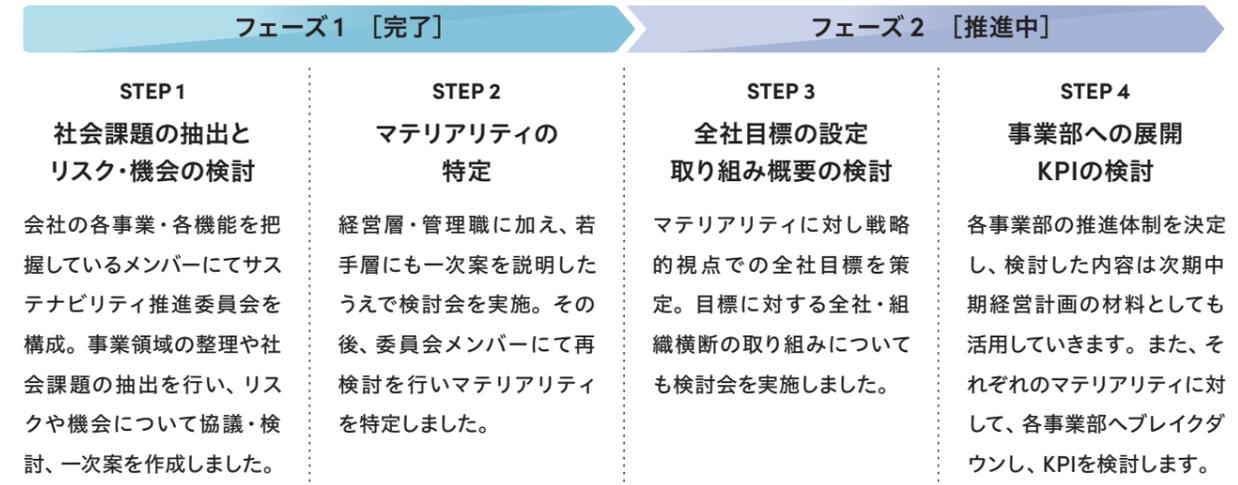
企業としての社会的責任を果たしながら、持続可能な社会と企業成長を両立させるため。

創業130周年を契機として、2023年2月に策定したパーパスを基点に、

中長期視点で取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定しました。

森下仁丹は、社会の課題解決を目指し、事業を通じて貢献していきます。

マテリアリティの特定プロセス



1 健やかさ・豊かさへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> ① 予防とセルフメディケーションの支援・浸透 ② “包む技術”の拡充と応用展開 ③ 健康社会に役立つ素材技術の研究推進 	森下仁丹が持つ“包む技術”と“素材研究”をさらに強化し、国内だけでなく海外市場のニーズの変化にも柔軟に対応していきます。また、セミナーや研究発表などを通じ、予防とセルフメディケーションの支援、浸透にも貢献します。	
2 森下“仁財”の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 価値観の共有と挑戦する風土の醸成 ② 戦力人財の育成と獲得 ③ 多様な人財が活躍できる環境・仕組みの構築 	次世代リーダーの育成を目的とした「仁丹大学」の開校や360度評価、管理者研修など、リーダーシップ開発に力を入れています。また、業務上必要なスキルトレーニングに加え、入社間もない時期からCSR活動に取り組むことで、企業の社会的責任について理解を深める機会を提供しています。	
3 安心・安全な製品の供給	<ul style="list-style-type: none"> ① 原材料の精選と安定調達 ② 信頼されるモノづくり 	お客様の健康被害や製品回収などにつながる不良品の発生を防ぐため、品質保証体制の維持管理やBCP、外部認証の取得を推進。同時に、気候変動や自然資本の減少に対応できるよう、調達先と継続的なコミュニケーションを行い、安定した原材料調達ルートを確認します。	
4 地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ① 気候変動対策 ② 環境負荷の低減 	気候変動対策の取り組みとして、CO ₂ 排出量の削減を目的に、省エネ機器の導入や製造工程の開発、エネルギー調達ルートの見直しを実施します。あわせて、環境負荷を低減するため、水使用量の削減や製品の賞味期限延長、資材ロスの低減といった活動を推進していきます。	
5 経営基盤の強化		コンプライアンスやリスクマネジメントに関する方針・施策を協議する場として、各委員会を設置。社外取締役を置くことで、経営の透明性向上と、公正かつ迅速な意思決定をとるシステム維持、および監視機能の強化を目指します。また、国際規範を遵守し、人権を尊重した事業活動を行います。	